

# 2019(平成 31)年度第11 期活動報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

## I. 事業の成果および活動概要

当法人設立から 11 年目となった本年度は、元号が平成から令和に移り、新しい時代の幕開けになるものと心躍らせ、五輪開催によって世界中の歓迎と交流をもって弥栄を望める 1 年になることを期待してきたが、新型コロナウイルスによる感染症が世界中に蔓延し、東京オリンピックは延期され、国内外の事業活動は活動停止状態に陥るなど先行き不透明な現況となった。

そのような中でも、2 月中旬までの活動は順調に推移し、目的を達成することができている。

主な事業のうち「防災BOOK作成と防災WS」事業に関しては、沿岸部を会場にして高台移転した新しいコミュニティでの自主防災組織の活動を前提とした防災力の向上を目的とした活動により、次年度以降自主防災組織を立ち上げるところまで進んだことは大きな成果と言える。

次に「被災者のこころの復興」事業に関しては、手創り市の開催は新型コロナウイルスの影響によって3月は中止にしたものの延べ11回の開催ができたことで出店者や来場者の交流が進むなど初期の目的を達成したと評価できる。

更に「紙による交流を目指したフリーペーパーKAWAS（かわす）」発行事業は、計画通りの回数を発行できたことと、掲載者の増加や投稿の増加がみられ、配布先についても企業の協力によって徐々に増えてきていることは事業効果が大きいと評価できる。また、被災者と地域住民の交流を目的とした各種ワークショップでは、絵手紙などの制作を行い、成果品をフリーペーパーに掲載することにより、離れて暮らす知り合いの様子がうかがえるなどの効果が表れている。

特に新たな人のつながりが生まれたことは、現代社会の情報洪水に溺れるのではなく

次に、その他の地域活動事業はカフェたばごやの運営によって記念館来館者への飲食提供、WSの開催、手創り市の調整拠点などでの活用が進み大いに進んだ。

そのほかには星空観察会主催や各種団体からの開催依頼なども増加しており認知度が高まってきている。さらに石森小学校や地域の連携では、石森地域活性化事業実行委員会や石森っ子サポーターズ、石森小学校学校運営協議会などの各種団体に参加し、協力しながら環境改善活動や清掃活動を進めている。

行政との連携でも環境改善活動は協働して行い、空き家・空き地の利活用については提言を行ってきた。

### 【活動分類ごとの概略】

#### 1) 特定非営利活動にかかる事業

##### (1) 人づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
① 地域づくり人材育成プロジェクト	これまでの活動でつながってきた地域住民との連携を強め、多様な活動への参加と対話を促すことができた。特に新規事業として取り組んだ紙SNS-KAWASを柱とする交流の活発化は、従来にないつながりを生み出している。特に配布範囲が沿岸部から内陸部、山間部まで広範囲にわたり、配布先対象人口は40万人	一般市民 60人参加	400

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
	<p>を越えており、多様な人材とつながりづくりができてきた。</p> <p>具体的には気仙沼市の自主防災活動に従事する一般社団法人スタッフとの事業連携や登米市内の山間部を中心に 11 名の任意グループを設置して地域づくりを学び実践しはじめた中で当法人スタッフが講師として参加している。</p> <p>更には山間部にある宿場町の商店街では空き家対策や起業支援に取り組んだ結果、移住が進んで複数の若者世帯が増加しており当法人スタッフもアドバイザーとして協力関係を作るなど、従来の価値観や行政の枠組みに捉われない地域づくりに関わりを深めている。</p>		
②若手後継者育成プロジェクト	<p>高校生ボランティアの育成は、事務所で学校の授業では出てこない現実社会の意識を高める学びを中心に進める一方で、実践場所として地域住民の手創り市「石森いろいろ市場」での事業メニューの企画から運営を行っている。</p> <p>(年間11回ワークショップ。ボランティア実践11回、延べ160名)</p>	計160名 参加	150
③地域防災プロジェクト	<p>地元の仲町行政区との共催で「自主防災訓練」を実施、 (自主防災組織の会議、訓練、延べ13人参加4回)</p> <p>南三陸町二地区の住民の方達に協力をいただき、防災に対するヒアリングやアンケートを行い、現在抱えている問題点や改善策について話し合うためのワークショップ、講演会を開催した。地域の防災組織の作り方や運営についてもまとめ、防災 BOOK を制作。</p> <p>(ワークショップ等6回、事業ミーティング10回。延べ89名)</p>	南三陸町内、登米市内112人参加	900
④環境教育プロジェクト	<p>現代の過剰な消費生活の影響による地球の自然環境問題について、小学生の時期に実地で学び、体験することで人間と環境のかかわりや、豊かな自然の価値を学び、地球にやさしい日常生活のありかたに気づくことを目的に実施した。</p> <p>運営は当 NPO スタッフと小学生、教員の他、一般市民ボランティアや登米市環境市民会議の会員も参加し、行政との協働で実施。</p> <p>水辺の生き物等調査から水質改善の実践 3回</p>	登米市内の小学校及び周辺地域 延べ41人	100
⑤星空教育プロジェクト	<p>1) 星空を観察し、宇宙現象や彗星、惑星、衛星などの基礎知識を知り、地元で見える満天の星空の素晴らしさを体感すると共に、豊かな自然に恵まれていることに気づくことを目的に開催した。</p> <p>親子参加で、家庭内でも地域の自然環境について意識を高めるきっかけとなり、開催依頼も増加し主催者の満足度も高くなっている。</p> <p>当法人主催2回19名 派遣依頼開催 5回 90名 計7回109名</p> <p>2) 連携開催事業 南三陸ホテル観洋主催のスターパーティに講師として派遣 年間9回 290名</p>	計16回 延べ399人 参加	600

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
⑥石森コミュニティスクール	1) 石森っ子サポーターズ事務局として活動。 ◆学習田の田植え、稲刈り・脱穀・もみすり作業等の調整、作業参加、運営支援。(事前調整・運営管理・ボランティアとりまとめなど) ◆校庭の草刈支援(地域住民と共に年間2回、他に随時実施) 事業実施及び入学式等の学校行事への参加 延べ28回	中田町石森 小学校区 延べ 205 名 参加	10

## (2) 場づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
①コミュニティカフェたばごやプロジェクト	地域コミュニティの活性化、交流人口の増加を目的として、石ノ森章太郎ふるさと記念館前の行政施設を借用したコミュニティカフェ「Cafe たばごや」を運営。 地元住民で、専門的な資格を有する人や、手に技を持っている方などが講師となって、各種ワークショップを開催、同様に地元の手作り作家などのギャラリー展示会の開催、南三陸の物産や小物販売を支援して、小さな経済と人的交流を生み出している。 ワークショップ 98回開催	ワークショップ 750名 計 750名	3,600
②手創り市の開催による地域価値向上	4月は昨年と同じ旧幼稚園園舎や中庭などを活用して、地域住民や沿岸部住民を始めとした、市内外の交流の場として「石森いろいろ市場」を開催。5月からはみやぎ生協加賀野店と連携し、毎月第1日曜日に「石森いろいろ市場」を開催している。 現在の出店数は毎回 20 店舗を上回り、被災者と地域住民の参加により新商品の開発やコラボレーションした商品が作られるなどの成果が表れている。 しかし3月は新型コロナウイルスの蔓延により中止とした。	登米市内 11 回 3,770名	873
③地域住民交流事業	1) 高校生ボランティアによる地域活動 手創り市の関連イベントとして開催。高校生のボランティア活動の主体的な実践の場としてみやぎ生協、屋上での軽音楽ライブや子ども見守りコーナー「プレイランド」も併設。ライブが無いときでも高校生による子ども見守り活動が行われた。 (高校生ライブ 2回 40名 ・プレイランド 11回 50名) (ほかにボランティアスタッフ延べ 116名) 2) 石森落語二人会 大阪から若手の上方落語家を毎回2名招聘。 空き家の活用や登米市内のお寺に協力していただき、地域外からの来訪者と地域の交流を行った他、心の癒しを作り出す場にもなっている。 6月と11月に3高座。 延べ6高座開催。	登米市内、 宮城県内、 全国 ライブ 40名 プレイランド 50名  落語会 280名 延べ 370名	320
④石森地域活性化事業実行委員会プロジェクト	登米市中田町石森地区の活性化をめざし、2014年に開設。 地域住民と共にまちづくりプログラムの企画や運用に取り組む。 石森地域の各種課題解決のために、常に連携して多様な事業に取り組み、解決を行っている。 1) 石森小学校のコミュニティスクール活動に事業協力している。 2) 地域のイルミネーション設置作業にも作業協力している。 3) 夏祭りなど石ノ森章太郎ふるさと記念館行事への協力	登米市中田 町石森地区 約 600人	100

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
⑤地域事業支援活動	<p>1) 登米市主催事業、産業フェスティバルへのブース出展</p> <p>2) 東日本大震災被災者支援</p> <p>◆手づくりランチ交流会開催</p> <p>味の素ファウンデーションと協働して、被災して移住した方々と移住先住民との交流会を開催した。交流を重ねることで世間話などを行える関係となり、心のいやせる交流の場所となった。2回延べ45名</p> <p>◆地域資源を活かした宝BOOK防災編(防災・減災BOOK)発行</p> <p>ヒアリングとワークショップの開催、自主防災についてまとめ、5,000部発行し、南三陸町内すべての小中学校全生徒及び公共施設登米市内の小中学校に一定部数を配布した。</p> <p>(ヒアリング及びワークショップ 延べ16回開催、延べ89名)</p>	<p>対象者 登米市・南三陸町住民 約90,000人</p> <p>事業参加及び協力者 延べ134人</p>	4500

### (3) 地域経済づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
①SATOY AMAマッチング事業	<p>1) 地域資源を活かした独自の【スターカードゲーム】活用事業</p> <p>各種イベントでの広報活動やデモンストレーションで普及を図ってきたところ1年間で207セットの販売普及を図ることができた。</p> <p>店頭販売は仙台市や岩手県など8か所で取り扱い。</p> <p>WEBでは全国誌「月刊星ナビ」のインターネットサイトで購入</p> <p>登米市 ふるさと納税返礼品としても取り扱っている。</p> <p>2) 環境省: GROBE AT NIGHTプロジェクト参加</p> <p>全国でも珍しい住宅地でも綺麗な星空が見える観察地点として評価を得ている。全体で3カ所登録済。(今後はKAWAS配布エリア内に30カ所ほどの観測場所を設置する)</p>	登米市を中心とした、周辺市町村	2500
②手創り市で地域内循環経済づくりプログラム	<p>「石森いろいろ市場」やワークショップを通じて、地域住民の収入拡大を図り、小さな経済ではあるが、地域内を循環する経済を生み出すことにより、地域価値の向上を図る。</p> <p>3月は新型コロナウイルスの蔓延により、中止となった。</p> <p>石森いろいろ市場: 年間11回開催、直接経済計算@20千円×22店×11回=約484万円</p>	<p>出店者延べ251店舗</p> <p>来場者延べ3,770人</p>	600
③地域団体支援プロジェクト	<p>NPO法人夢未来南三陸への活動支援活動、みなさん館、石泉ふれあい味噌工房PRと、地域経済のさらなる好循環を創出。</p> <p>年間8回(日)活動支援、コンサルティング。</p>	南三陸町と地域住民 3,800人	760
④商品開発・販路開拓プロジェクト	<p>今年度は新規開発は実施していません。</p> <p>従来の商品等の販路拡大を進めてきましたが、まだまだ未熟な状態であり、KAWASや手創り市などのプログラムと連動して取り組む必要がある。</p>		10

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
⑤遊休資源 活用、地域 経済創発プ ロジェクト	工芸品工房やデザイン事務所の継続的な活動場所として空き家、空き施設などを活用。ワークショップなどを通じて地域住民との交流を深めながら販売により、自立支援活動につなげることができている。	南三陸町 関連団体・個人 2人、関係者 900人	870

⑥スタディツアー、観光ツーリズムプロジェクトは特に取り組みはありませんでした。

#### (4) 受託事業

- ①【石森っ子サポーターズ】 事務局業務受託
- ②【石森地域活性化事業実行委員会】 石森地域活性化事業受託

#### (5) 各事業で連携した個人、団体等 (順不同、敬称略)

1 当法人のプログラムにご協力いただいた市民、住民のみなさま	事業連携
2 ワークショップ、勉強会等でご指導いただいた講師先生	事業連携
3 プログラム実施にご協力いただいた一般ボランティア	事業支援
4 石森いろいろミニライブに参加いただいた高校生ボランティア	事業支援
5 石森いろいろプレイ・ランドに協力いただいた高校生ボランティア	事業連携
6 石森地域活性化事業実行委員会	事業連携・共同実施
7 石森山安永寺	事業支援協力
8 石森小学校	事業連携、共同実施
9 石森っこサポーターズ	事業連携、共同実施
10 石森商店会	事業連携・支援
11 仲町行政区	事業連携・支援
12 蓬田行政区	事業連携・支援
13 石ノ森章太郎ふるさと記念館	情報共有、事業協力
14 宮城県佐沼高等学校	事業連携
15 登米市	情報共有
16 登米市教育委員会	事業協力
17 登米市環境課	事業協力、連携
18 登米市環境市民会議	事業協力、連携
19 登米市社会福祉協議会	事業協力・共同開催
20 佐沼天文同好会	事業協力
21 南三陸町・歌津支所	事業協力
22 NPO法人夢未来南三陸	事業連携
23 歌津復興支援の会 一燈	事業連携。運営協力
24 登米南三陸の会	事業連携
25 登米市民活動フォーラム	広報協力
26 復興庁	補助金支援

27 宮城県	事業協力
28 株式会社ホテル観洋	事業共催補助金支援・事業連携
29 株式会社ビクセン	事業連携・協力
30 公益財団法人味の素ファンデーション	・活動支援
31 甲陽株式会社 Studio, S	事業連携、コンサル、運営支援
32 日本NPOセンター	助成金支援、活動支援
33 DesignStudio一筆	事業連携
34 AstroArts 株式会社	事業協力
35 リアスアーク美術館	事業協力
36 横山不動尊、大徳寺	事業連携
37 株式会社あさの	事業連携・協力
38 みやぎ生協 加賀野店	事業連携
39 みやぎ生協共同購入運営部	事業協力
40 紙SNS-KAWAS掲載者のみなさま	寄稿、広報支援、配布協力

## (6) マスコミ掲載記事等一覧

① 新聞・行政広報等 なし

② テレビ・ラジオ なし

③ 冊子・WEBサイト・関係団体等

・ナイン・タウン通信 【年間11回発行。石森いろいろ市場開催日に発行】

・メールマガジンの発行(不定期。11回発行)

5月14日(82号)	5月24日(83号)	6月11日(84号)	6月26日(85号)
7月10日(86号)	7月26日(87号)	8月6日(88号)	8月21日(89号)
10月11日(90号)	11月8日(91号)	12月11日(92号)	

## 2) その他の事業

特になし

## II. 事項別状況

### 1. 登記内容の変更等

特になし

### 2. 定款等の変更

#### (1) 定款本文及び附則の変更

2018年5月30日開催、2018年度通常総会において定款の一部改定が行われた。

改訂事項第54条(広告の方法)※次の内容に改訂

第54条 この法人の公告は、この法人の掲示場に提示するとともに、官報に掲載して行う。

ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。

(2) 規程・規約等

・旅費規程(変更なし)

他に設置、変更ともになし。

3. 会員の状況

		正会員数	賛助会員数	計
2017年4月1日現在		12名	36名	48名
年度内の異動	加入者数	0名	12名	12名
	退会者数	0名	2名	2名
2018年3月31日現在		12名	46名	58名

4. 役員の状況

理事長 小野寺 敏  
副理事長 鈴木 武彦  
専務理事 伊藤 寿郎  
監事 及川 充

5. 会議の開催状況

(1) 総会

① 2019年度(第11期)通常総会

開催日時 2019年5月28日(水) 午後6時から

開催場所 本会事務所会議室

出席した会員数 9名(本人出席6名、書面決議書出席3名)

1. 提出議案

第1号議案 2018年度(第10期)活動報告書承認の件

第2号議案 2018年度(第10期)活動計算書承認の件(会計監査報告)

第3号議案 2019年度(第11期)活動計画書(案)承認の件

第4号議案 2019年度(第11期)活動予算書(案)承認の件

第5号議案 事業用短期運転資金の借り入れ先及び借入金限度額承認の件

第6号議案 任期満了に伴う役員改選の件

(2) 理事会

① 第1回理事会

日時 2019年4月21日(日) 午後5時から午後7時30分まで

場所 本会会議室 出席理事 3名

② 第2回理事会

日時 2019年5月20日(月) 午後5時から午後7時まで

場所 本会会議室 出席理事 3名 監事 1名

③ 第3回理事会

日 時 2019年8月11日(日) 午後5時から午後8時まで

場 所 本会会議室 出席理事 3名

④ 第4回理事会

日 時 2019年10月10日(木) 午後6時から午後8時まで

場 所 本会会議室 出席理事 3名

⑤ 第5回理事会

日 時 2020年3月16日(月) 午後6時から午後8時まで

場 所 本会会議室 出席理事 3名

(3) 監査会

日 時 2019年5月20日(月) 午後2時から午後5時まで

場 所 本会会議室

立会い者 理事長 小野寺 敏、副理事長 鈴木武彦、専務理事 伊藤寿郎

監 査 者 監 事 及川 充

監査内容 2019年度事業活動並びに活動計算書及び関連証憑に関する事項